

糖尿病診療－最新の動向

－医師・医療スタッフ向け研修講座－

国立国際医療研究センターでは糖尿病診療に従事されている医師、医療スタッフの方を対象に、糖尿病の最新の診断・治療についての研修講座を下記の日程・要領で行います。ご関心をお持ちの方の多数のご参加をお待ち申し上げます。

第 36 回 [大阪会場]

開催日時：平成 27 年 11 月 1 日(日) 10 時～15 時20 分

会場：コンベンションルーム・AP 大阪駅前 地下 2 階 AP ホール

(〒530-0001 大阪市北区梅田 1 丁目 12 番 12 号 東京建物梅田ビル地下 1F・2F)

定員：230 名

申込締め切り：平成 27 年 10 月 29 日(木)

参加費：3000 円(テキスト代を含む)

- ◆日本糖尿病療養指導士認定機構<第 2 群>「認定更新のための研修会」として 1 単位申請中
- ◆日本糖尿病学会専門医更新 2 単位申請中
- ◆日本糖尿病協会療養指導医取得のための講習会として認定申請中
- ◆単位取得可能な地域糖尿病療養指導士
現在申請中

申込、その他に関するお願い

<申込方法>

- オンライン
糖尿病ネットワークのオンライン申込ページ(下記 URL)よりお申込みいただけます。
(<http://www.dm-net.co.jp/event/ncgm-dm.html>)
- e-mail
「研修会参加希望」とのタイトルにて、希望会場、施設名、氏名を明記の上、事務局 e-mail(dm-inf1@hosp.ncgm.go.jp)宛にお送りください。参加申込書を数日以内に返信いたします。
FAX 用参加申込書を e-mail 添付にてお送り頂いてもお申込みいただけます。
(なお、携帯電話からのお申し込みはご遠慮ください)
- FAX
FAX 用参加申込書をダウンロードしていただき、事務局 FAX(03-3202-9906)までお送りください。下記 URL よりダウンロードすることができます。
(<http://www.dm-net.co.jp/event/ncgm-dm.pdf>)

※参加登録が完了致しましたら、こちらから登録完了のご連絡(登録番号、参加予約票)をさせて頂いております。申込後、1週間以上こちらより連絡がない場合は、お申込みができていない可能性がございますので、お手数ではございますが、事務局までご連絡ください。

※お電話でのお申込みは受付ておりませんのでご了承ください。

<ご注意とお願い>

- 申込締め切り日前に定員に達している場合がございますので予めご了承ください。締め切り日以降の事前受付は原則致しませんが、定員に余裕があれば当日会場にて受付致します。
- 開場時間は開演1時間前となります。到着されましたらまずは受付をお済ませください。(参加予約票のご提示をお願い致します)
- 参加費(テキスト代含む)は3,000円です。できるだけ釣り銭のいらぬようご協力をお願い致します。
- 講師、講義題目は都合により変更になる場合がございますので、予めご了承ください。
- 会場へのお車でのご来場はご遠慮ください。
- 昼食は各自でお取りいただくようお願い致します。
- 喫煙、ご飲食は指定された場所以外ではご遠慮ください。
- 会場に冷暖房はございますが、温度調節が可能な服装でお越しいただきますようお願い致します。
- やむを得ずキャンセルされる場合は、開催日前々日(金曜日)16:00までに dm-inf1@hosp.ncgm.go.jp 宛にご連絡ください。定員に達した際には参加をお断りさせて頂いている方もいらっしゃいます。無断でキャンセルされますと次回からの参加をお断りする場合がございますのでご了承ください。

皆様のご理解とご協力をお願い致します。

その他、ご不明の点等ございましたら直接事務局までご連絡ください。

講師は都合により変更になる場合がございますので、予めご了承ください。

第 36 回 [大阪会場]

10 時～開会の挨拶

10 時 05 分～

「外国人糖尿病患者への対応」

山王病院 内科 岸本 美也子

近年、日本在住もしくは観光やビジネス目的で日本を訪れる外国人の増加に伴い、日常診療で外国人患者に対応する機会が増えています。糖尿病は生活習慣改善の指導が重要な疾患ですが、特に外国人の糖尿病患者の場合、言葉、文化、医療システムの違いに加え、食習慣の違いがあるため、糖尿病診療が容易ではありません。本講では実際の症例を提示して、外国人の糖尿病患者への対応を考えていきたいと思えます。

「外来における療養支援の実際」

国立国際医療研究センター病院 石本 洋子

糖尿病患者の療養指導は糖尿病の治療そのものであるといわれており、各施設で様々な取り組みがなされているところです。当院でも外来看護チームがフットケア指導、インスリン自己注射指導、糖尿病透析予防指導を 3 本柱とした療養指導を実施しています。本講では、当院でのシステム作りや指導の実際についてご紹介させていただきたいと思えます。

11 時 40 分～昼食休憩

12 時 40 分～

「糖尿病とうつ」

国立国際医療研究センター 峯山 智佳

糖尿病患者さんは治療や合併症などに伴う心理的・肉体的苦痛のために、さらにはうつと糖尿病の発症において共通する病態生理学的機序を介して、うつを併存しやすいと考えられています。うつが併存すると良好な代謝管理目標を達成・維持することが困難になりやすく、健康寿命が短縮することが問題です。本講では糖尿病とうつに関する疫学知見をご紹介したのち、うつ病併存症例を診療する際の考え方をお伝えしたいと思えます。

「糖尿病における血圧管理」

国立循環器病研究センター 糖尿病・代謝内科 岸本 一郎

糖尿病患者の血圧管理の重要性は疑いのないところですが、どの程度に血圧を管理すべきなのかは議論の余地があり日米欧のガイドラインでも異なっています。降圧薬の選択としては、ACE 阻害薬やアンジオテンシン受容体拮抗薬の有用性が示されていますが、1 剤のみでは管理出来にくいことが多く、しばしば多剤併用が必要です。本講では、糖尿病患者の血圧をいかに管理すべきかについて日常臨床におけるポイントを中心にお話ししたいと思います。

14時 15 分～休憩

14時 25 分～

「糖尿病－大血管症抑止のエビデンス」

国立国際医療研究センター 野田 光彦

心筋梗塞、脳卒中といった糖尿病の大血管症をどのように予防・抑止するか、本講では、糖尿病診療のいわば中心的課題の 1 つであるこのポイントについて、大規模臨床研究を中心に、低血糖などに関する最近の知見までを交えてサマライズし、お伝えいたしたいと思います。

15 時 10 分～閉会の挨拶

15 時 20 分 終了

お問合せ先：

国立国際医療研究センター

糖尿病情報センター 「糖尿病 医師・医療スタッフ向け 研修講座」事務局

〒162-8655 東京都新宿区戸山 1-21-1 e-mail: dm-inf1@hosp.ncgm.go.jp

TEL: 03-3202-7181 (内線: 2161) TEL: 03-5273-6955(ダイヤルイン) FAX: 03-3202-9906